

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	警察用航空機の整備		担当部局庁	長官官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	会計課装備室		装備室長 富岡 昭彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	別添参照				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察用ヘリコプターを国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を効果的に遂行するものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	警察用ヘリコプターは、パトカーと連携した容疑者の追跡・検挙、大規模災害発生時における遭難者の捜索・救助等各種の警察活動に多角的に活用されているところであるが、こうした警察活動を迅速・的確に遂行するため、新たに必要性が生じた警察用ヘリコプターの整備及び老朽化により飛行の安全性や航空性能が低下した警察用ヘリコプターの更新整備を図る。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付 その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	5,229	3,701	2,140	0	4,710	
		補正予算	849	796	5,436	0		
		繰越し等	485	485	4,872	4,872		
		計	5,593	3,390	2,704	4,872	4,710	
	執行額	3,760	3,390	2,030				
執行率(%)	67%	100%	75%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	(成果目標) 警察活動に必要な航空機を整備する。		成果実績	機	81	81	82	82
	(成果実績) 警察用航空機の保有数		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	警察用航空機整備機数		活動実績 (当初見込み)	機	4 (4)	3 (2)	7 (7)	(0)
単位当たりコスト	1,309,875(千円/機)		算出根拠	平成24年度における航空機(中型ヘリ)1機の整備に要する経費を単位当たりコストとする。 「単位当たりコスト=X/Y」 X: 24年度新規契約総額(5,239,500千円) Y: 24年度新規契約機数(4機)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	航空機購入費	0	4,710	平成24年度補正予算国庫債務負担行為歳出化分及びその部品並びに小型ヘリコプター3機及び中型ヘリコプター2機の損耗更新分。				
				要求額のうち、「新しい日本のための優先課題推進枠」631百万円				
	計	0	4,710					

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。				厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察用ヘリコプターを国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を効果的に遂行するものであることから、国が実施すべき事業であり、また優先度も高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				一般競争入札の結果であり、支出先の選定、競争性の確保及び単位当たりのコスト削減等は適切である。また、仕様費目・用途については、事業目的に則し真に必要なものに限定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				警察用ヘリコプターは、警察活動の基盤となり上空からの唯一の手段として有効に活用され全国的に一定水準の警察活動が効果的に遂行されており、他の手段と比較して実効性の高い手段となっている。また、全国的に一定の水準の警察活動を効果的に遂行しうる機数の維持等に努めており、その活動実績は見込みにあったものである。他省庁にもヘリコプターは保有されているが、その組織の機能に応じ適切な役割分担となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・用途の把握水準・状況 警察用航空機は、警察庁において一括調達しているため、支出先・用途については把握している。					
	2 見直しの余地 警察用航空機は機動力を確保する上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した警察用航空機の更新や治安情勢に応じた充実強化を図る必要がある。 また、調達するには、契約案件の都度、仕様の見直し・点検を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに、競争性・経済性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組を行っており、今後も効率的な予算執行に努める。					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、仕様の見直しにより調達における競争性を十分確保し、また数機一括の調達により経済性の向上に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き、仕様の見直しにより調達における競争性を十分確保し、また数機一括の調達により経済性の向上に努める。					
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初15, 補正10	平成23年	62	平成24年	47

警察庁
2,030百万円

〔警察用航空機を整備〕



航空機購入
【一般競争入札】

A 民間会社(3者)
2,030百万円

〔航空機の製造請負を実施〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.三井物産エアロスペース(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	H23中型ヘリコプターの納入	1,955			
計		1,955	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井物産エアロスペース(株)		1,955		
(内訳)		H23中型ヘリコプターの納入	983	1	
		H23中型ヘリコプターの納入	972	1	
2	ユーロコプタージャパン(株)	H23小型ヘリコプターの納入	49	3	
3	三菱商事(株)	H21中型ヘリコプターの納入	26	2	

政策・施策名

